

高校での学習はあらゆる場面で役立つことを認識しよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

県立高校入試の合格発表がありました。合格なさった方は本当におめでとうございます。残念なことに一番行きたかった学校に合格できなかった方もいらっしゃると思いますが、その方は入学を許可された学校でがんばっていただきたいと思います。人生はいつからでも始められますので、進学した学校でぜひがんばってください。
2. さて、私は、福島市にあります学校法人有朋学園の理事長を務めて7年になります。有朋学園は有朋高等学院という高校を運営していて、その卒業式が3月6日の金曜日になりました。
3. 有朋高等学院は福島市の中心街にあります。中学生のときに不登校であったお子さんを中心に、高校に入ってから学校に馴染めずに不登校になったお子さんも受け入れています。今年は、3.11に起こった震災の影響などで卒業生が少なく、16名でした。その卒業生たちの卒業証書授与式に出席し、理事長としてあいさつをしました。各学校で学校長や理事会・評議会の代表があいさつをするように、私も理事長という立場であいさつをさせていただきました。
4. その内容は、高校で学習したことはすべて世の中に出て役に立つものであるから、それを十分に踏まえた上で生活していただきたいということでした。大学・短期大学・専門学校などでの学習は高校での学習の基礎の上に立って行われますので、高校での勉強を大事にしていきたい。社会に出てからも、65歳を過ぎてからも一番役に立つのは高校で学習したことであると言っている方も多いため、一生涯かけて高校での勉強の上に自分の人生を築いていただきたいという旨のお話をさせていただきました。
5. そのために大事なことは、高校の教科書・参考書・授業ノート・辞書などを決して捨てないで身近に置いておくことです。そうしないと、高校での勉強の上に何かを築こうとしてもなかなか築けないからです。そこで、高校の授業で使った教科書・参考書・地図帳・歴史年表・理科の資料集・ノートなどはできるだけ身近に置き、それらを参考にしながらいろいろなものごとを考えてほしいという提案をいたしました。
6. 生徒を前に、理事長としてお話をする機会は年に数回あります。そのたびに同じ内容の話をしていましたので、卒業生もよくわかってくれたようです。最後に校門の前で一人ひとりの卒業生と握手をしながら「高校での勉強は大事なので、教科書などは捨てないでね」と言いましたところ、「もうわかりました。その話は身に沁みました」という答えが返ってきました。ですから、実行してい

ただけと思っています。放送をお聴きの皆様の身近に、中学校を卒業なさる方、高校を卒業なさる方、大学・短期大学・専門学校などを卒業なさる方がいらっしゃいましたら、学校の勉強は大事であるから、教科書・参考書・辞書・授業ノートなどをできるだけ身近に置いて生活するようにお話してください。

7. 小学校で勉強したことは中学校で役に立ちます。中学校で勉強したことは高校で役に立ち、高校で勉強したことは大学・短期大学・専門学校・専修学校で役に立ちます。また、仕事でも役に立ちます。大学などで勉強したことはすべて社会に出て役に立ちます。ですから、学校での勉強を大事にし、その上に自分の仕事の勉強・生活するために必要な勉強・趣味など人生を深めるための勉強を付け加えていただければと思います。

8. 私が悔やんでいることの1つは、高校生のときに地理や歴史をもう少し勉強しておけばよかった、地学・物理・化学をもう少し勉強しておけばよかった、特に古典、日本の古文や中国の漢文をもっと勉強しておけばよかったということです。古典をしっかりと勉強していれば、「論語」を読もうとしたときにすらすらと読めるわけですね。このように、高校で学習する内容はすべて役に立ちます。その前提は中学校での学習ですから、中学校での学習内容も役に立たないことは1つありません。学校で勉強したことを社会に出てからもう一度勉強しようと思っても、なかなか難しいです。ですから、学校の勉強にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

9. よく考えてみると、高校入試の勉強はものすごく役に立ちます。高校入試は中学校で学習した内容のすべてから出題されます。学校の教科書や先生の授業などを基礎にし、それを応用する形で問題が作られています。それを解くために、よい点数を取って合格するために、中学生は3年生の後半になると必死になって中学校の学習内容の復習をします。また、大学に進学するときにも、大学を出て就職するときにも、入学試験や就職試験のために高校の学習内容を勉強し直します。その全部が役に立ちます。

10. 試験は、今までの学習内容を振り返ってやり直し、「これはこういうことなのか」とよく理解した上できちんと身に着けることでよい点数が取れます。そのため、中学校の学習内容を相当勉強しないと高校入試に受かりません。高校の内容をしっかりと勉強し直さないと、大学入試で合格できず、就職も大変になります。ですから、試験を受けることに被害者意識を持つのではなく、自分の今までの勉強をまとめてやり直し、それを正確に身に着けるためのものだと積極的な姿勢でとらえていただければと思います。私は常々、このようなお話を中学生や高校生の皆様に行っています。

11. 放送をお聴きの皆様も、「学校の学習を大事にし、その上に次の段階の学習を積み重ねていくように」と子どもたちを励ましていただきたいと思います。また、学校でもう少し勉強しておけばよかったと思っている社会人の方は、本屋さんに出掛けてください。本屋さんには「もう一度やり直す日本史」や「もう一度やり直す世界史」など社会人の方々でも勉強できる本がたくさん置いてありますので、それらを手にとって勉強していただければと思います。私もいろいろなことをもう一度勉強したいと思っていますので、よろしく願いいたします。